

9月21日は世界アルツハイマーデー

1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、世界保健機関(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この病気に関する啓蒙を実施しています。

羽曳野市では、認知症の啓発活動の一環とし、9月の1カ月間「**羽曳野市は、認知症の人や家族を見守り安心して暮らせるまちづくりをすすめています。**」と書かれたステッカーを公用車に貼っています。

**羽曳野市は、
認知症の人や家族を見守り
安心して暮らせるまちづくり
をすすめています。**



9月21日は世界アルツハイマーデー



安心声かけ見守り訓練（高鷲南校区 5月22日）

安心声かけ見守り訓練は、認知症サポーター養成講座、認知症徘徊搜索模擬訓練を通して、認知症になっても安心して暮らすことができる地域をつくるため開催しました。

今回は高鷲南校区の地域みなさんと介護保険事業所・行政・警察が協力して取り組みました。参加者のみなさんから、『地域全体での訓練が必要と思いました』『今回の訓練に参加し、一つひとつの話が新鮮で勉強になった』という声がありました。また行方不明者役をされた方からは、『見つけてもらうまで、不安で仕方なかった』『真剣に探してくれて嬉しかった』



という話を聞くことができました。

この取り組みを通し、日頃から、挨拶や声かけをすることが、地域の見守りになり、こういった訓練を継続していくことが大切だという意見も多くあがりました。

羽曳野市見守りネットワークシールを配布しています。

羽曳野市では、「認知症サポーター養成講座」や「認知症徘徊搜索模擬訓練」といった取り組みの他にも、徘徊し行方不明になるおそれのある方に対し、「徘徊高齢者 SOS ネットワーク事業」という取り組みを行っています。

同事業に事前登録していただいた方を対象に、「羽曳野市見守りネットワークシール」(QRコードシール)を配布しています。事前登録された高齢者を発見・保護した方が、このQRコードを携帯電話等で読み込むと、羽曳野市地域包括支援センターの電話番号が表示され、連絡していただくことにより、対象者の早期発見・家族への早期連絡につながる仕組みとなっています。

羽曳野市見守りネットワーク

